

証券コード：1899

福田組から株主の皆さまへ
FUKUDA REPORT

第**98**期 報告書

2024年1月1日～2024年12月31日



株式会社 **福田組**

地域に根差し、地域を超えて マルチ・ステークホルダーとの 強い絆を築いてまいります。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて当社は2024年12月31日をもって、第98期事業年度を終了しましたので、ここに当事業年度の概況をご報告申し上げます。

当社グループはフクダグループスピリット「100年先も誠実」を掲げ、当社グループの総力を結集し、誠実を貫き、大切な人々との強いきずなをつくりあげ、そのいのちと暮らしを守りつづけます。また、当社は「挑戦する企業体質のもと、人間と環境を大切に、感動的価値の創造を目指す」ことを経営理念に掲げ、顧客・株主・取引先・地域社会・従業員など、すべてのステークホルダーとの強い絆を築くため、全社一丸となって取り組んでおります。

当事業年度の業績は後記のとおりであります。そして当社は、今年度中期経営計画かつ長期ビジョンの最終年度を迎えます。計画を策定した当時の想定を超えて、当社を取り巻く環境の変化は進んでおりますが、積み残した課題に一つ一つ取り組むことで企業価値の向上と健全なグループ経営基盤の維持を図り、今後とも株主の皆さまのご期待に沿えるようグループ一丸となって邁進する所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年3月

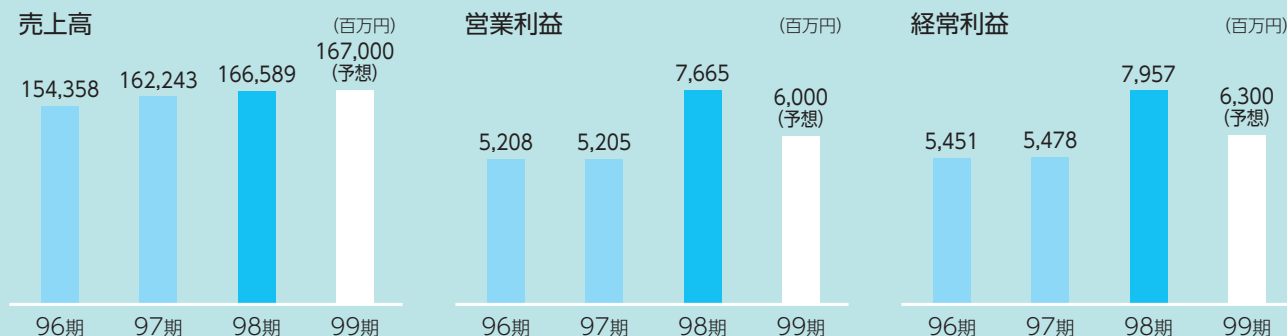


代表取締役会長
福田 勝之



代表取締役社長
荒明 正紀

財務ハイライト



◆ 当事業年度の市場環境

▲ 当事業年度における我が国経済は、デフレ脱却に向けて着実に前進し始めております。特に、大企業の賃上げは引き続き高い水準を維持しており、このような所得環境の改善から、個人消費は緩やかに持ち直しを見せております。また、脱炭素化投資や、労働生産性向上に向けたDX、省力化投資の拡大も追い風となり、今後の景況は内需主導のもと、堅調に推移していくものと思われま。一方で、米国のトランプ新大統領の就任のもと、保護主義的な貿易政策により、関税の引き上げを始めとした強硬な外交姿勢が、世界的なサプライチェーンの混乱を招きかねず、今後の我が国を含めた世界経済の不透明感は払拭し切れないものとなっております。

建設業界におきましては、就業者数が年々減少していることに加え、業界全体の多くを占める高齢技能者が数年後の引退を控えていることから、人手不足への早急な対応が今後の大きな課題となっております。また、国を挙げた適正な価格転嫁への取り組みが奏功し、市場価格を反映した適正な請負代金の設定が業界全体でなされ始めているものの、建設コストは依然として上昇が続いており、労務・資材調達のための競争は激しさを増しております。

◆ 当事業年度の連結業績概要

▲ 不動産の販売事業、ならびに前期から繰り越された大型民間建築工事等の進捗が順調に推移していることから、売上高は前年同期比2.7%増の1,665億円余となりました。

利益面では、手持ち工事が順調に進捗したことや、大型開発物件の引渡しにより不動産事業の売上高が増加したことから、売上総利益は前年同期比19.1%増の178億円余となりました。営業利益においては、賃上げに伴う人件費の増加や、不動産販売に伴う販売費の増加により、販売費および一般管理費は前年同期比で増加が見られたものの、売上総利益の増加幅が大きかったことから、前年同期比47.3%増の76億円余となりました。また、経常利益においても、受取配当金の増加などにより、前年同期比45.2%増の79億円余となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、増益に伴い法人税、住民税および事業税は増加したものの、税金等調整前当期純利益の増加幅が大きかったことから、前年同期と比べて56.8%増の53億円余となりました。

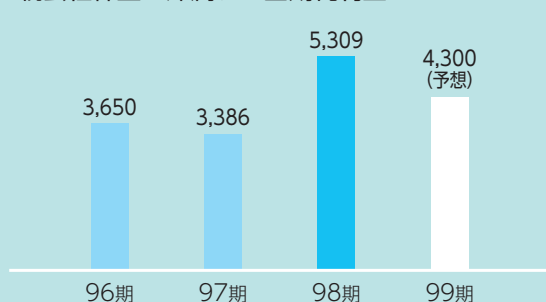
◆ 次期の見通し

▲ 建設業界におきましては、公共、民間建設投資ともに、2025年は前年と比較して総じて増加が見込まれ、特にオフィスや生産施設の省エネ対策や高付加価値化など、政府の補助金政策等に係る需要と供給は今後も堅調に推移していくものと思われま。また、2025年の大阪・関西万博を皮切りに、統合型リゾートの建設など、大型プロジェクトに伴う建設投資ニーズが今後高まる一方で、我が国では超高齢化社会、いわゆる「2025年問題」に突入することから、建設業界における労働力人口の減少がより深刻化していくものと思われま。

このような環境に対応すべく、2025年を最終年度とする「中期経営計画2025」の目標達成に向けて施策を確実に実行してまいる所存であり、目まぐるしく変化する社会だからこそ地域に根差し、また地域を超えたバランスの取れた事業活動を通じて、マルチ・ステークホルダーとの関係性を一層強化してまいります。

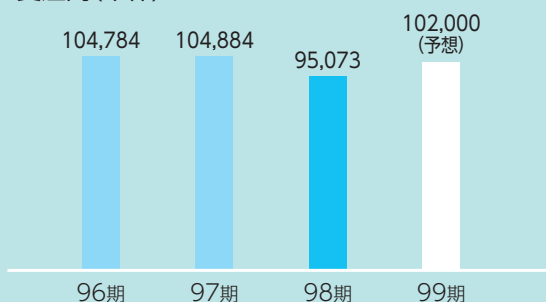
親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



受注高(単体)

(百万円)





地域に根差し、地域を超えて マルチ・ステークホルダーとの 強い絆を築く

10年後のあるべき姿を示した長期ビジョンの最終フェーズとなる2022年、中期経営計画2025を策定しました。

長期ビジョン2025 100年の歴史の伝承と 次の100年に向けた挑戦

- 強い連結経営で
地方ゼネコンの枠を超えた全国展開
- 品質と安全で顧客満足の創造
- 高い技術力・高い提案力のある企業集団
- 優秀な人材の確保と活躍できる環境の整備
- すべてのステークホルダーと
WIN・WINの関係を構築

当社の目指すべき姿

前中期経営計画2021

- 事業のポートフォリオ変革
- 新たな収益基盤
- 人材の確保・多様化

現中期経営計画2025

次の100年での
持続的成長を見据え
企業の『質』の充実を
目指す

基本方針

主要事業（建設・不動産）の進化と深化
～再強化と可能性の追求～

フクダグループによる誠実ブランドの確立
～信頼による営業力の強化～

安全と品質の強化と徹底

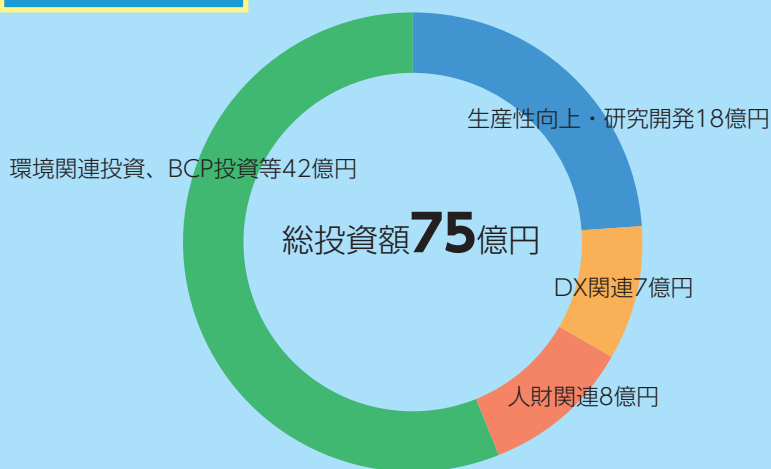
人財の充実と成長
～組織を支える多様な基盤の整備～

企業価値向上のためのESG経営

(参考) 中期経営計画2025 業績・経営数値目標

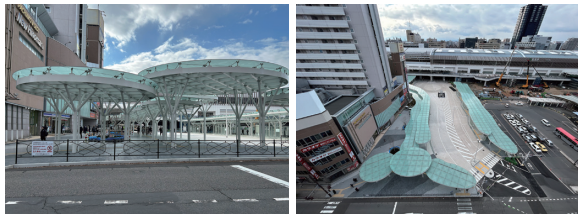
- 売上高…………… **1,850**億円
- 営業利益…………… **84**億円
- 売上高営業利益率…………… **4.5**%
- 自己資本比率…………… **50.0**%
- ROE…………… **8.0**%程度
- 配当性向…………… **20.0**%以上

投資計画



当事業年度の主な完成工事

建築



新潟市 様
新潟駅万代広場シェルター等建設工事（新潟県）



株式会社相鉄アーバンクリエイツ 様
（仮称）ゆめが丘大規模集客施設新築工事（神奈川県）



株式会社日本エスコン 様
（仮称）箕面市船場東計画新築工事（大阪府）



宝交通株式会社 様・岡谷鋼機株式会社 様
（仮称）熱田区明野町計画（愛知県）



中ノ橋通一丁目地区市街地再開発組合 様
中ノ橋通一丁目地区第一種市街地再開発事業施設建築物（西街区）
新築工事（岩手県）



グランピアニースカイ前マンション建替組合 様
（仮称）グランピアニースカイ前マンション建替計画新築工事（熊本県）

土木



新潟県 様

一級河川福島潟 福島潟水門本体工事 (新潟県)



新潟県 様

新潟港 (東港区) 南浜防波堤 (3) 上部工その4工事 (新潟県)



北陸地方整備局 様

信濃川下流東新潟地区河道掘削及び新光町やすらぎ堤
その14工事 (新潟県)



北陸地方整備局 様

千曲川村山地区堤防強化工事 (長野県)



福島県 様

道路橋りょう整備 (再複) 工事 (道路改良) (福島県)



東北農政局 様

会津北部農業水利事業 松野頭首工補修工事 (福島県)

当事業年度の主な受注工事および完成工事

受注工事

- 大和ハウス工業株式会社様
(仮称) 江東区有明1丁目計画新築工事 (商業棟)
- 新潟機械株式会社様
新潟機械株式会社桃山工場新築工事
- 北関東防衛局様
入間 (5) 給水施設等整備土木その他工事
- 東京都下水道局様
空堀川上流雨水幹線取水人孔工事

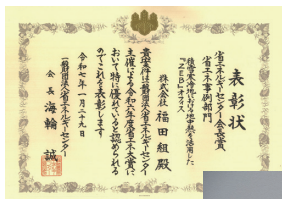
完成工事

- 株式会社相鉄アーバンクリエイティブ様
(仮称) ゆめが丘大規模集客施設新築工事
- イオンモール株式会社様
レイクタウンアウトレット増床活性化建築・設備工事
- 船橋市様
上長津川1号幹線管渠築造工事
- 東日本旅客鉄道株式会社上信越建設プロジェクトマネジメントオフィス様
上信工工29第16号信越線新潟駅付近高架化笹口工区3

TOPICS
1

脱炭素社会に向けた取り組み

2024年度(令和6年度)省エネ大賞にて「省エネルギーセンター会長賞」受賞



一般財団法人省エネルギーセンターが主催する2024年度(令和6年度)省エネ大賞において、当社が設計施工を手がけた、株式会社興和中越支店が、「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。この施設は、当社のグループ会社である株式会社興和が推進している再生可能エネルギー「地中熱」を利用した空調設備を中心に、複数のパッシブ技術およびアクティブ技術や太陽光発電による創エネも取り入れ、『ZEB』認証を取得した施設となっており、積雪寒冷特別地域における脱炭素化の新しいモデルケースとして評価されたことが、今回の受賞につながりました。当社および当社グループ会社では、持続的成長企業に向けて、脱炭素への取り組みに引き続き挑戦してまいります。

TOPICS
2

協力会社とともに社会貢献活動

ボランティアや寄付等を通じて地域貢献

当社と協力会社で構成する福寿会では、様々な活動を通じて地域社会への貢献に取り組んでいます。昨年は、活動を通じて集まった募金を令和6年能登半島地震災害への義援金や子ども支援関連事業などに寄付を行ったほか、地域清掃への参加や献血ボランティアなど様々な活動を行いました。これからも当社は協力会社とともに、様々な活動を通じて地域や社会に貢献してまいります。



TOPICS
3

確かな技術力で社会基盤づくりに貢献

「工事成績優秀企業」 「ICT人材育成推進企業」認定

国土交通省北陸地方整備局より令和6年度「工事成績優秀企業」および「ICT人材育成推進企業」の認定および表彰を受けました。「工事成績優秀企業」は12年連続、「ICT人材育成推進企業」については昨年度に続き3度目の認定となり、施工管理や品質管理など、当社の技術力と提案力が高く評価されました。今後とも施工・品質管理等において、さらなる技術研鑽に努めてまいります。



連結財務諸表

● 連結貸借対照表 (単位: 百万円/百万円未満切捨)

科目	98期(2024.12.31現在)	97期(2023.12.31現在)
資産の部		
流動資産	105,433	99,801
固定資産	37,380	36,929
資産合計	142,814	136,731
負債の部		
流動負債	50,004	48,953
固定負債	7,402	7,444
負債合計	57,406	56,397
純資産の部		
株主資本	82,898	78,448
その他の包括利益累計額	1,762	1,175
その他有価証券評価差額金	1,855	1,355
土地再評価差額金	41	65
退職給付に係る調整累計額	△134	△245
非支配株主持分	746	709
純資産合計	85,407	80,333
負債・純資産合計	142,814	136,731

● 連結株主資本等変動計算書 (2024.1.1~12.31) (単位: 百万円/百万円未満切捨)

	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,158	6,169	70,651	△3,531	78,448	1,355	65	△245	1,175	709	80,333
当期変動額											
剰余金の配当			△920		△920						△920
親会社株主に帰属する当期純利益			5,309		5,309						5,309
自己株式の取得				△29	△29						△29
自己株式の処分		3		48	51						51
土地再評価差額金の取崩			39		39						39
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						500	△24	111	587	36	624
当期変動額合計	—	3	4,428	18	4,449	500	△24	111	587	36	5,073
当期末残高	5,158	6,172	75,080	△3,513	82,898	1,855	41	△134	1,762	746	85,407

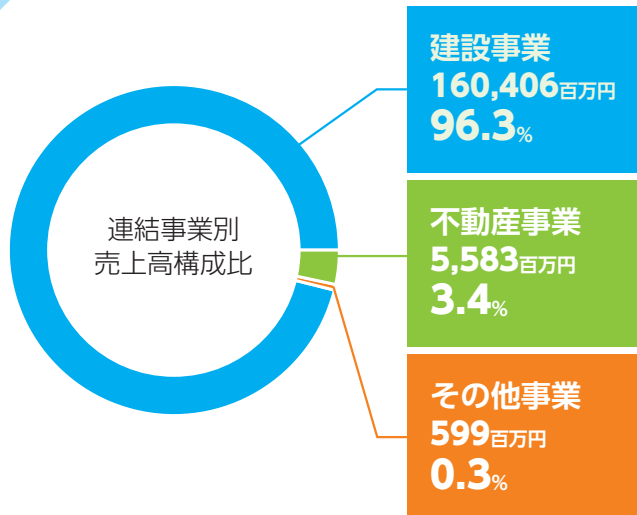
● 連結損益計算書 (単位: 百万円/百万円未満切捨)

科目	98期(2024.1.1~12.31)	97期(2023.1.1~12.31)
売上高	166,589	162,243
売上原価	148,765	147,281
売上総利益	17,824	14,961
販売費および一般管理費	10,159	9,756
営業利益	7,665	5,205
営業外収益	389	350
営業外費用	97	77
経常利益	7,957	5,478
特別利益	242	143
特別損失	342	405
税金等調整前当期純利益	7,858	5,217
法人税、住民税および事業税	2,435	1,878
法人税等調整額	51	△109
当期純利益	5,371	3,447
非支配株主に帰属する当期純利益	62	61
親会社株主に帰属する当期純利益	5,309	3,386

● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円/百万円未満切捨)

科目	98期(2024.1.1~12.31)	97期(2023.1.1~12.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,877	7,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,079	△1,875
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,369	△4,347
現金および現金同等物の増減額	3,428	1,271
現金および現金同等物の期首残高	29,418	28,146
現金および現金同等物の期末残高	32,846	29,418

事業概況／グループ会社



当社が建設工事の受注・施工を行うほか、子会社の福田道路(株)他22社、関連会社の(株)高建他4社が建設工事の受注や施工、ならびに建設工事関連資機材の賃貸や製造販売等を行っており、その一部は当社が発注しております。

当社が不動産の売買・賃貸および開発に関する事業を行っているほか、子会社の福田アセット&サービス(株)他4社、関連会社の(株)高建他1社が不動産事業を行っております。

子会社の福田道路(株)他4社は建設工事関連以外の製品の賃貸や販売、またはサービスの提供を行っております。その中に建設工事以外のサービスを提供する子会社の一つとして、福祉施設を経営する、(株)デザイン工房がございませう。

株式会社相模エンジ

当社はフクダグループの一角を成す福田道路株式会社相模原営業所を前身に、2002年に創設された舗装・土木工事業を中心とした地域施工会社です。

設立当初から社是に掲げている“地域貢献”と“誠実さ”を常に心がけ、地元自治体(相模原市・神奈川県)をはじめ、近隣の東京都西部地区に至るまで、地域の皆さまに信頼される企業として成長してまいりました。

地域に根差した企業として、先人たちが築き上げた足跡を礎に、新たな歴史を刻めるよう役職員一丸となり業務に邁進してまいります。

- 代表者 代表取締役 志賀 純也
- 所在地 神奈川県相模原市中央区田名3383番地の1
- 設立年月日 2002年1月
- 資本金 2,000万円
- 従業員数 14名
- 事業内容 アスファルト舗装を中心とした舗装、土木工事業
- HP <https://www.sagamienji.co.jp/>



企業データ

■ 会社の概況 (2024年12月31日現在)

創 業 1902年1月
設 立 1927年12月
資 本 金 5,158,408,496円
従 業 員 数 850名
連 結 子 会 社 16社 (福田道路(株)他)

主要な事業所 ●本社

新潟市中央区一番堀通町3番地10
電話 025-266-9111 (大代表)

●本店・支店

新潟本店(新潟市中央区)
東京本店(東京都千代田区)
東北支店(仙台市青葉区)
名古屋支店(名古屋市中区)
大阪支店(大阪市北区)
九州支店(福岡市博多区)
中越支店(新潟県長岡市)
北海道支店(札幌市中央区)

●営業所

盛岡、千葉、横浜、村上、上越、広島ほか
5営業所

主要な子会社

福田道路(株)
(株)興和
フクダハウジング(株)
(株)レックス
福田アセット&サービス(株)
(株)新潟造園土木
福田リニューアル(株)
北日本建材リース(株)
(株)リアス

■ 役員 (2025年3月27日現在)

代表取締役 執行役員会長	福田 勝之	取締役 常勤監査等委員	岩崎 勝彦
代表取締役 執行役員社長	荒明 正紀	取締役 監査等委員	中田 義直
取締役 専務執行役員	齋藤 秀明	取締役 監査等委員	若槻 良宏
取締役 常務執行役員	山賀 豊	執行役員副社長	藤山 秀章
取締役 常務執行役員	大塚 進一	上席執行役員	追木 博幸
取締役 執行役員	砂田 修一	上席執行役員	須田 敏明
取締役 執行役員	小見 年雄	執行役員	今野 和則
取締役 執行役員	永塚 重松	執行役員	福田 雄介
取締役	上原 小百合	執行役員	渡邊 哲
		執行役員	三上 善嗣
		執行役員	矢澤 重正
		執行役員	古屋 真
		執行役員	小島 久佳

注1. 永塚重松、上原小百合の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
注2. 中田義直、若槻良宏の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役(監査等委員)です。

■ 株式の状況 (2024年12月31日現在)

発行可能株式総数 20,000,000株
発行済株式の総数(自己株式を除く) 8,372,422株
株主数 7,749名
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)	708	8.5
(公財)福田育英会	688	8.2
福田 直美	431	5.2
(株)第四北越銀行	375	4.5
小沢 和子	321	3.8
福田石材(株)	286	3.4

(注) 持株比率は自己株式(615,689株)を控除して計算しております。なお、当該自己株式数は、「株式給付信託(J-ESOP)」および「役員株式給付信託(BBT)」制度の信託財産として、(株)日本カストディ銀行(信託EIO)が保有する当社株式(95,100株)は含まれておりません。

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで

定時株主総会 3月

基準日 定時株主総会 12月31日
期末配当金 12月31日
中間配当金 6月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

【連絡先】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

【送付先】

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場

公告の方法 電子公告の方法により行います。

ただし、やむを得ない事由により電子公告による
ことができない場合は、日本経済新聞に掲載いた
します。

公告掲載URL <https://www.fkd.co.jp/>

【ご注意】

●株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口
座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管
理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店で
お支払いいたします。

●特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三
菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座
の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。

なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

株主優待制度

当社では、日頃の株主様の御支援に感謝申し上げるとともに、
弊社株式を末永く保有していただくことを目的に、株主
優待制度を導入しております。

保有株式数	優待贈呈内容	贈呈実施基準
200株以上	金券 2,000円分	毎年12月31日現在の株主 名簿に記載または記録さ れた内容に応じ贈呈
200株以上	金券 5,000円分	1年以上継続保有(株主名 簿に3回以上記載または記 録)された内容に応じ贈呈

贈呈時期 毎年3月下旬発送予定



福田組

検索

<https://www.fkd.co.jp/>



FUKUDA

本社 / 新潟市中央区一番堀通町3番地10
電話 025-266-9111 (大代表)